

苫小牧地区U12 サッカーリーグ IN 北海道 兼 第54回苫小牧地区小学生サッカー交歓会 兼 第31回苫小牧地区民杯争奪少年サッカー交歓会 兼 第45回全日本少年サッカー大会苫小牧地区予選 開催要項

※新型コロナウイルスの影響により不測の事態が起こった場合についてはすべてにおいて下記の限りではない事を必ずチームにて留意の上、ご参加ください。

1. 目的 「Player's First!」の観点から、全てのプレーヤーに年間を通じたプレー機会を提供することで、リーグ戦文化の定着と育成、全ての選手が「公式戦」に出場できることによるサッカーファミリーの増加、サッカー文化の浸透を図ることを目的として、本事業を実施する。
2. 主催 公益財団法人 日本サッカー協会・公益財団法人 北海道サッカー協会
3. 主管 苫小牧地区サッカー協会・苫小牧地区サッカー協会第4種委員会
4. 協賛 苫小牧民報社
5. 期日 2022年4月下旬～9月上旬
6. 場所 苫小牧市緑ヶ丘公園サッカー場、他
7. 参加資格
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会並びに苫小牧地区サッカー協会第4種委員会に本年度加盟登録済みのチーム。他地区からの登録・参加は認められない。
 - ② 参加チームの構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通して継続的に活動していること。
 - ③ 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
 - ④ 財団法人スポーツ安全協会傷害保険(第1種A)もしくはこれに準ずる障害保険加入手続き完了済みである選手。
 - ⑤ 女子登録選手の参加を認める。
 - ⑥ 参加選手は健康であり、且つ保護者の同意をえること。
 - ⑦ **メンバー表を4月24日までに事務局まで提出する事。**

複数チームエントリーする際は、組み合わせ決定前にメンバー票を4種委員会あてに提出することとする、ただし背番号についてはその必要はない。(リーグ第1試合の15日前までは最大2名、実人数4名のチーム間の移動を認める)また各チームに公認指導ライセンス保持指導者及び帯同審判員が必要である(これにおいても選手と同様の日程で変更を認める、人数の制約はない)、また、引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。
 - ⑧ リーグ戦に付随して行われる指導者講習会に参加すること。
 - ⑨ 各チームの登録選手は、原則として本協会発行の選手証(印刷した選手証または電子選手証)を持参しなければならない。ただし、写真添付により、顔の認識ができるものであること。
8. 参加チーム 21チーム (複数参加3を含む)

9. 競技方法

- ① 各ブロックに分かれ総当たり、リーグ戦で行い、一日最高で原則 2 試合（土日で 2 試合）までとする。
- ② 競技時間は原則 40 分（20-5-20）とする。

10 リーグ構成

- ① 昨年の JUNN 杯の BEST8 とトラック杯の BEST8（両大会ともに BEST8 チームが 5 チームあるので）計 11 チームを 2 大会の順位によりポイントをつけ 11 位まで順位を決定する（同ポイントの場合は優先大会をトラック杯とし、より上位チームに敗戦したチームを上位とする）。1 次リーグは、A ブロック・ポイント 1 位から 6 位（6 チーム）、B ブロック・ポイント 7 位～11 位（5 チーム）C・D（5 チーム）抽選にて決定。の 4 ブロックにて行う。

B・C・D ブロックにおいては総当たりリーグ戦の終了後それぞれのリーグの順位決定戦を行いリーグの最終順位とする。（2 位対 3 位・4 位対 5 位）

2 次リーグは T1（上位 11 チーム）・T2（下位 10 チーム）2 ブロックでの各ブロック総当たり戦とする。

2 次リーグ T1 への進出は別添を参照のこと

それ以外を T2 リーグとする。

- ② 各リーグにおける順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は勝ち 3、引分け 1、負け 0 とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

- 1、 当該チームの間の対戦成績。
- 2、 当該チーム間の得失点差。
- 3、 当該チームの間の総得点数。
- 4、 全チームを含んだ得失点差
- 5、 全チームを含んだ総得点
- 6、 抽選。

- ③ 翌年度、1 次リーグ開始時の各リーグチーム編成は前年度の U11 の大会結果を反映させ決定する。

11. 競技規則

- ① 本年度（公財）日本サッカー協会競技規則（8 人制）に準じて実施する。
- ② 試合開始 30 分前に主審によるユニフォームチェックを受ける。その際、エントリー表も提出する。
- ③ 競技者の数は 8 人（内 1 人はゴールキーパー）とし、6 人未満となった場合は不成立。原則としてチームの構成は、引率指導者 1～3 人、選手 16 名以下（女子の参加可）とする。
- ③ ベンチに入ることができる人数は 11 人（交代要員 8 人、引率指導者 3 人）とする。
- ⑤ 交代は主審の承認を得る必要が無く、エントリー表に記載された残り 8 名以下の選手の中で自由に交代することができる。交代はインプレー中、アウトプレー中にかかわらず行うことができるが、交代ゾーンから行う。（交代ゾーン）ベンチ側タッチラインのハーフウェーに 6 m（ハーフウェーラインを挟んで両側 3 m）としタッチライン外側に約 30 cm の長さでラインまたはマーカーコーンでマークしておくこと。
- ⑥ 交代して退いた競技者も交代要員となり、再び出場することができる。
- ⑦ 本大会において、退場させられたものは次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会の規律委員会で決定する。本大会の規律委員会は、第 4 種役員等にて構成されたメンバーで行うこととする。
- ⑨ 本大会期間中、警告を 2 回受けたものは、次の 1 試合に出場できない。
- ⑨ コートの広さは**原則** 68 m×50 m とし、ゴールは少年用ゴールを使用する。ペナルティエリア 12 m、ゴ

ールエリア 4 m、センターサークル 7 mとする。

- ⑩ 本大会においては、8人に満たない場合は試合を開始しない。その際は0-5の不戦敗とする。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。
- ⑩ 選手番号については、「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ⑫ ゴールキーパーの負傷退場等により、緊急避難的にフィールドプレーヤーがゴールキーパーに変わる場合については、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない。

1 1. エントリー等の確認

- ① チーム登録選手の変更は原則認めないものとする（本大会に出場経験のない新規選手の追加に関してはこの限りではない）。
- ② やむを得ない事情がある場合は、4種委員会において検討する。
- ④ 試合が行われる際ライセンス保持者が1名以上ベンチ入りすることを義務付ける。
- ⑤ 選手証・指導者ライセンス証等の確認は各チームの第1試合目前に本部で実施する。

1 2. ユニフォーム

- ① (公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、②以下については、一部本大会の緩和規定として採用する。
- ② 本大会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ・ショーツおよびソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。(正・副の2色については、明確に異なる色とする。*なお、大会主催者が認めた場合に限り、デザインやロゴが異なっても同系色のユニフォームであれば着用を可能とする。)
- ③ 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した時は、両チームの立ち会いのもとに、その試合におけるユニフォームを決定する。また、その際は、登録された2組のユニフォームのうちからシャツ・ショーツおよびソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することができる。(ゴールキーパーのみ、登録された4組のユニフォームから判別しやすい組み合わせを決定することができる。)
- ④ ゲーム進行時、ゴールキーパーがフィールドプレーヤーとなる場合(その逆の場合も)については、シャツの交換のみでもよいこととする。また、その場合、ゴールキーパーは、他の選手との判別がつくのであれば、ゴールキーパーとして登録しているユニフォームでなくてもよいものとする。
- ⑥ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
- ⑦ アンダーシャツ・タイツの色は問わないが、チーム内で同色のものを着用する。
- ⑧ 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。

1 3. ブロック運営

- ① 各ブロックの運営責任者を1名配置し調整等を行う。
- ② 運営は原則自主運営であるが参加チームは運営責任者を中心に会場などの協力を惜しまず運営を行うこと。
- ③ 運営責任者は結果、変更事項等速やかに各役員に報告すること。

- 1 4. 審判員 1次リーグのAブロックとBブロックおよびリーグ戦内の順位決定戦とプレーオフ、2次リーグのT1リーグは4人制とする。
それ以外の試合は全て2人制とする。

参加チームは必ず1名上の帯同審判を義務づける。(2名が望ましい)

15.開会式 日程の都合上、実施しない。

16.閉会式

- ① 期日 2022年9月上旬日程終了後
- ② 場所 苫小牧市緑ヶ丘サッカー場
- ③ 参加 T1&T2リーグ上位3チームの選手、指導者は必ず参加する。

17.その他

- ① 苫小牧地区サッカー協会、懲戒規定第3条に規定する違反行為があった場合、それ以降の処置については大会規律委員会において裁定する。
- ② 複数チームを登録する場合はトップチーム、セカンドチームとし2次リーグ進出にあたりトップチームとセカンドチームが同一ブロックに入ることを妨げない。
- ④ 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合には本大会競技役員において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがある。
- ④ 監督またはベンチ役員が判定に対して異議を示し、主審から注意を受けた後に、再度異議を示した際は、主審の判断により退席処分とし、それ以降ベンチからのコーチングは不可とする。
- ⑤ T1リーグにおいて優勝・準優勝・第3位のチームは、2022年9月23日(金)室蘭地区(予定)にて開催される道南ブロック大会への参加を義務づける。
- ⑥ コロナ拡大等により大会運営に支障が出た場合における順位決定等の対応については、以下のとおりとする。
 - 1、全く開催できなかった場合は現時点でのポイントランク1位~3位を代表とする。
 - 2、1次リーグが全て開催された場合はその時点でのAブロックの順位通りとする。
 - 3、2次リーグが半分の5試合が終了していたら全チームが開催出来た節時点の順位で決定とする。